

ご自由にお持ち帰り下さい。



萌

もえる

SUMMER, 2009

NISHI YOKOHAMA INTERNATIONAL HOSPITAL

INFORMATION

腎・透析センターのご紹介

VOL. 39



医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院

特集

今年の夏を元気に乗り切る
水分補給のコツ!

損をしないための制度活用法
～肝炎治療に関する治療費助成制度～

数字から知る健康雑学
～白血球の大きさ～

皆様から信頼される腎・透析センターを目指して頑張っています！

腎臓内科について

慢性腎臓病の患者さんは全国で約1330万人(人口の12.9%)もいると推定されています。当院腎臓内科は今年より常勤医師4名体制となり、7月からは月曜日から土曜日まで毎日外来を開いています。腎臓病の初期から進行した末期腎不全にいたるまで対応が可能です。

健診で指摘された方、またホームドクターから指示された方をはじめ当院に受診されました折には、最善の医療を提供させていただきます。

透析について

慢性腎臓病で腎臓の働きが徐々に低下して、尿毒症症状を認めるようになると、血液透析療法が必要になります(全国で27万人)。透析というのは、薄い膜を通して体内に溜まったさまざまな尿毒症物質(代謝終末産物)を血液から取り除いて、血液成分を整える治療技術です。この代謝終末物質を処理するため、ヒトの腎臓は休みなく働いています。1週間分の腎臓の仕事を週3回(各4時間)、合計12時間で代行するのが透析です。

透析センターの沿革

透析センター開設は、西横浜国際総合病院開設と同じく1988年です。その間、透析治療要請に際しては、戸塚区や泉区の患者様に限らず、横浜市中心部や藤沢市からの患者様につきましても、対応して参りました。現在、透析機器は29台あり、総勢120名近くの患者様に対応が可能です。

腎臓内科および透析センターの方針

病院理念、安心・安全の医療—患者様と共に—を基本的態度としています。究極の目標は患者様のQOL(生活の質)を高めることにあります。

より具体的には ①良質な医療を提供すべく、4名の医師が慢性腎疾患の始まりから透析導入・維持までを一貫して管理します ②チーム医療を実践します。患者様お一人お一人について、透析室スタッフ全員が問題点を共有し、より良い診療を行うべく各職種全員で綿密な討論をします ③患者様の全身状態は、日常から患者様とかかわり、必要時には医療をすすめて、透析にだけ目を向けることのないよう全人的医療を行います ④あらゆる医療要請(入院治療も含め)に常時応じられる体制となっております。また非腎疾患(例、多臓器不全・自己免疫疾患・難病神経疾患)に対する各種血液浄化療法にも対応が可能です ⑤地域医療との関連では、慢性腎疾患の患者様を当院医師とホームドク

腎臓内科外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	猪	築取	山本	猪	山本	猪
午後	築取	常勤医	常勤医	猪	常勤医	



ターの2人で連携して診療する体制を構築する予定です ⑥ご希望される透析患者様は、通院送迎車(無料)がご利用いただけます(介護度の高い方には、介護保険による送迎サービスのご利用をご案内いたします)。

透析室の1日

患者様は午前組と午後組に分けられます。毎日8時頃と12時半頃に来院された患者様が順次透析室に入り、体重を測り、透析が始まります。透析中はテレビを見たり、読書をして時間を過ごします。血圧測定は30分毎に行われます。その間、患者様お一人お一人からスタッフが得た情報を持ち寄り、毎日カンファレンスを開き、透析条件や患者様の治療内容について、その都度検討します。所定の4時間の透析を終えると帰宅されます。

ご希望の方には、ご自宅と病院との無料送迎を運行しております。

腎臓内科および透析室のスタッフ

常勤医師4名、非常勤医師2名、臨床工学技士11名、看護師6名、看護助手2名、クラーク1名です。透析室の機能を果たすのに十分なマンパワーで、スタッフ一丸となり患者様の回復をご支援いたします。

ご相談・お問い合わせ

旅行、帰省時の臨時透析にも対応が可能となっております。

また、他院からの転院ご希望の方も、お気軽に「腎・透析センター」または「地域医療連携室」まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。

腎内科・透析センター医師

いの よしすけ
猪 芳亮 医師
副院長 腎・透析センター長



昭和43年 慶應義塾大学医学部卒
慶應義塾大学小児科学教室入局。
国立東京第2病院へ出向、内科医長、
病棟診療部長を経て、
西横浜国際総合病院副院長 腎・透析センター長就任
日本内科学会認定医・日本透析医学会専門医

おさむ
長谷川 理 医師
医療法人 横浜博萌会 理事長



昭和42年 慶應義塾大学医学部卒
慶應義塾大学小児科学教室入局。
都立清瀬小児病院小児腎内科医長
西窪病院 腎センター所長、西横浜国際総合病院副院長を
経て、理事長就任
日本腎臓学会専門医・指導医・日本透析医学会専門医・指導医
日本小児科学会専門医

山本 弓月 医師

平成11年 昭和大学医学部卒
腎臓内科医員 日本透析医学会専門医 日本腎臓学会専門医

築取 誠 医師

平成17年 長崎大学医学部卒
腎臓内科医員 日本外科学会専門医



病院理念 基本方針

安心・安全の医療—患者様と共に—
良質な医療の提供・地域医療への幅広い貢献・生命と人権の尊重

診療受付時間

平日・土曜とも 午前 7:30～11:30
平日のみ 午後 0:00～4:30

診療開始時間

午前 9:00～ 午後 1:30～(平日のみ)

救急外来

救急・急患の方は24時間の診療体制

付属施設

腎・透析センター・健康管理センター・関節外科センター・
西横サービスセンター(居宅介護支援事務所)・ケアフレンズ横浜(訪問介護)

診療科目

内科(一般・循環器・呼吸器・腎臓)・外科・
消化器科・脳神経外科・整形外科・関節
外科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・
皮膚科・泌尿器科・精神科・麻酔科・
リハビリテーション科

関節外科センター



大久保 俊彦 医師

関節外科センター長 日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本整形外科リウマチ認定
義肢装具適合判定医



▲いい病院2009

- ◆高度な技術と経験を必要とする、整形外科の人工股関節と人工膝関節置換術を中心に診療を行っています。
- ◆患者様の早期退院、早期社会復帰を第一に考え、患者様にとって最善の治療を行い、理学療法士らと連携し術後のリハビリにも力を入れ、長期的フォローも実践しています。
- ◆関節外科センター長の久保俊彦医師は、人工関節のスペシャリストで、朝日新聞出版の「手術数でわかる いい病院」に掲載されました。
- ◆1990年から2008年10月まで、人工股関節置換手術1754例、人工膝関節置換術253例、寛骨臼回転骨切り術754例など全国でも屈指の手術件数を積んでいます。
- ◆関節外科外来は、月・火・木曜日の午後・土(第2・4週)午前の診療で予約制です。

http://www.nishiyokohama.or.jp/kansetsu_c.html

地域に密着した急性期から在宅医療まで、広範な医療ニーズに対応

介護サービス一覧

西横サービスセンター 居宅介護支援事業所

院内にある事業所であるため、主治医は医療スタッフと協働し、医療依存度の高い重介護度の利用者様を支援しています。

デイケア 通所リハビリテーション

院内にあり、6～8時間のサービス提供時間の中で、リハビリ・作業・レクリエーションなど季節ごとのイベントを企画。リハビリには特に力を入れ、毎回健康体操・集団体操を実施しています。

ケア・フレンズ横浜 訪問介護

在宅支援・介護タクシー・福祉用具貸与事業・住宅改修・特定福祉用具販売・障害者日常生活用具給付・高齢者紙おむつ給付等、様々なご要望に対応しています。

訪問診療 居宅療養管理指導

医師が、利用者様の状況に応じて月1回以上訪問診療に伺います。ご状態により入院となった場合には、すみやかに調整いたします。在宅での看取りも支援しています。

訪問看護ステーション にしよこはま

訪問看護経験豊富な保健師・看護師の他に3名の理学療法士が訪問リハビリを実施しています。西横浜国際総合病院や在宅支援診療所と連携をし、夜間休日等の24時間緊急時対応を行っています。



(財)日本医療機能評価機構認定病院 Ver.5 認定第GA220-2号

医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院

〒245-8560
横浜市戸塚区汲沢町56
TEL.(045)871-8855
<http://www.nishiyokohama.or.jp>

